

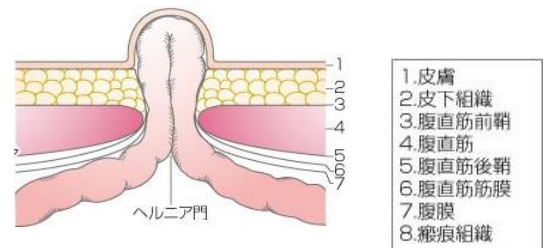
～赤ちゃんのでべそ（臍ヘルニア）～

赤ちゃんの「でべそ」どうすればいい？今回は原因と治療法についてご紹介します。

（看護師 石川）

どうしてでべそに？

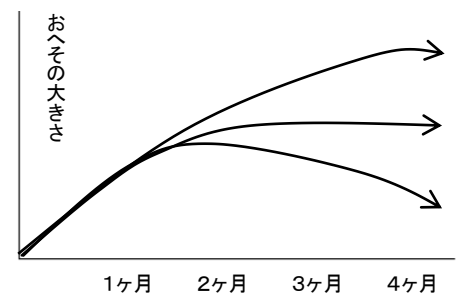
赤ちゃんが産まれてへその緒（臍帯）を切ります。
へその緒は急速に縮んでおへそになります。
へその緒が縮んでいく過程で筋肉（筋膜）がくっつかず穴ができてそこから腸が飛び出すのが臍ヘルニアです。



※特に、1ヶ月から2ヶ月頃に大きくなることがあります。

どんどん大きくなるの？

- 生後～2ヶ月目 親指大ピンポン玉くらい（1cm～5cm程度）と様々です。
- 生後4ヶ月～ 赤ちゃんが寝返りやはいはいを始める頃になると、左右の腹直筋が発達して縮んでいきます。
- 1歳を過ぎると… 形を治すために手術が必要になります。



自然に治るように処置を行って様子を見ていきます



○綿球による圧迫療法

飛び出した腸をきちんと戻した後、綿で作った丸い玉（綿球）をヘルニア門にあてて伸縮テープで固定します。（飛び出したおへその大きさにより伸縮テープのみで固定する場合があります）

2ヶ月～開始し4ヶ月目くらいでヘルニア門が閉じてきておへその皮膚も収まってきます。



※固定の仕方が悪かったり大きめのヘルニア門の場合、大きく膨らんだりを繰り返すと皮膚が伸びてしまい、おへその形が悪くなる場合もあるので早めに相談してください。

当院では昨年9月～3月の間に13名の臍ヘルニアの赤ちゃんの処置を行いました。



○ 処置の方法・・・

- 綿球とテープ固定 4名
- 伸縮テープ固定 6名
- 手術(小児外科へ) 2名
- 経過観察 1名

※残念ながら1歳を過ぎると穴が自然に閉じることはありません。形を治すために手術が必要になります。

○ 治るまでの期間・・・

- | | | |
|-----------|------------|------------------------|
| 1週間 (1名) | 2週間 (1名) | |
| 1か月 (2名) | 1か月半 (2名) | 新生児の4～10%程度 |
| 2か月 (1名) | 手術 (2名) | 1歳までに80% |
| 経過不明 (1名) | 経過観察中 (3名) | 2歳までに90%が自然治癒するとされています |

○ 合併症

- テープかぶれ 3名
- 化膿した 1名

その他

自宅でテープ固定が難しいと相談 2名

「でべそ」は新生児に比較的多くみられます。

今回は2人が手術となっていますが多くは治っていきます。だんだん大きくなってくようなら早めに相談して下さい。



《日本脳炎》



特例対象者の方へ
(H7.4/2～H19.4/1の間に
生まれた方で20歳未満の方)



特例対象者に該当する方は市区町村から接種の案内がなくても(積極的勧奨対象外)、20歳になるまでの間に4回の接種のうち不足分を定期として接種できます。H7年度生まれの方はH27年度に20歳を迎えるため、誕生日の前日までに接種を済ませましょう。

日本脳炎に定期接種はH17年5月末～H22年3月まで、積極的な推奨が差し控えられていました。ご家族に対象となる方はいませんか？母子手帳をご確認のうえ、スタッフまでご相談下さい。

～編集後記～

みなさんお花見は行きましたか？
丸亀城は今年も綺麗に咲いて
いました(^o^)
まだ寒暖の差があるので、
調節のできる衣類で過ごし
ましょう。



【もりもとこどもクリニック診療案内】

- 診療時間 午前8:30～12:30
午後16:00～18:00 (土曜日17:30)
- 健診・予防接種 14:30～16:00 (予約制)
- 休診日 木曜日午後・第4土曜日・日祝日
- TEL 0877-25-9228
- HPアドレス <http://www.morimoto-kodomo-clinic.com>